

第5回日本服薬支援研究会/
第17回 旧簡易懸濁法研究会 総会

資 料

日時:2024年9月29日(日) 15:10～15:40

場所:北里大学薬学部1号館(白金キャンパス)

第5回日本服薬支援研究会/第17回旧簡易懸濁法研究会 総会

司会 石田幹事

議長 倉田代表幹事

議事

議事録作成者選任

議事録署名人選任(2名)

担当

ア. 審議事項

2023年度事業報告

新井副代表幹事

2023年度会計収支報告

久保幹事

2023年度事業報告・会計収支監査報告

宮本監事

2024年度事業計画案

新井副代表幹事

2024年度事業予算案

久保幹事

イ. 報告事項

役員

世良幹事

研究会規則改正

新井副代表幹事

簡易懸濁法認定制度報告

青木幹事

簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

世良幹事

2023 年度(2023 年 7 月～2024 年 6 月) 事業報告

〔Ⅰ〕 学術講演会・総会

第 4 回日本服薬支援研究会/第 16 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会

大会長: 岸本 真

日時:2023 年 9 月 3 日(日)13:00～16:45

場所:Zoom による Web 開催

特別講演1 13:05～13:50「薬剤師が 10 年後もキラキラしているために必要なこと

～ 薬のリスクから患者を守る!! ～」

医療安全システムデザイナー 古川 裕之 先生

特別講演2 13:50～14:35「その症状もう一度考えてみませんか?

～薬剤師による栄養障害への取組～」

上越地域医療センター病院 薬剤科 宮川 哲也 先生

招待講演 14:40～15:15「旅立った子どもが苦しんだこと ～ 剤形のハードル～」

患者家族 鈴木 隆行 様

一般発表 15:15～16:15

総会(会員のみ) 16:20～16:45

参加者数:101 名

〔Ⅱ〕 講演会

1) 2023 年 日本服薬支援研究会 Web 講演会 4 回シリーズ「薬剤師が栄養を基礎から考える
金曜日」

担当:倉田なおみ、石田志朗

場所:Zoom による Web 講演会

講師:浅ノ川総合病院薬剤部、NST 専門療法士(薬剤師) 東 敬一朗 先生

日時・内容:

1 回目: 7 月 28 日(金)19:00～20:30

「薬剤師が栄養の知識を身につける意義を楽しく実体験できるおはなし」

参加者数:71 名

2 回目: 8 月 25 日(金)19:00～20:30

「薬剤師が栄養療法を考える上で知っておいてほしいこと」

参加者数:113 名

3 回目: 9 月 15 日(金)19:00～20:30

「病態別栄養は実は難しくないんだと実感できるおはなし」

参加者数:91 名

4 回目:10 月 13 日(金)19:00～20:30

「健康寿命の増進のために薬剤師がすべきこと, できること, そしてもたらされる未来とは」

参加者数:79 名

2) 日本服薬支援研究会 Web 講演会 「薬剤師が栄養を礎から考える金曜日」(今回は木曜日)

担当:飯田純一

日時:11 月 16 日(木) 19:00～20:40

場所:Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

内容:小児の特徴と服薬支援および栄養支援—妊娠期からの子どもの健やかな成長・発達をめざして—

講師:地方独立行政法人 大阪府立病院機構、大阪母子医療センター 臨床検査科主任部長、
大阪府移行期医療支援センター長 位田 忍 先生

参加者数:44 名

3) 日本服薬支援研究会 摂食・嚥下障害部会 Web 講演会

担当:石田志朗

日時:2024 年 5 月 10 日(金)19:00～20:40

場所:Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

内容: 1)19:00～19:30 簡易懸濁法での投与における医薬品の情報提供の実態

東京薬科大学 秋山滋男 先生

2)19:30～20:00 クロピドグレル硫酸塩の事例から考える簡易懸濁法の配合変化と対策

北里学薬学部 青木学一 先生

3)20:00～20:30 介護施設へのアンケート調査における薬剤師の介入状況とその課題

協和調剤薬局 本局 米田正明 先生

参加者数:54 名

[Ⅲ]実技セミナー

1) 第 9 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

担当:宮本悦子、毎田千恵子

日時:2023 年 8 月 6 日(日)9:55～15:30(55 分の休憩含む)

場所:Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

参加者:29 名、ファシリテーター:10 名

2) 正しい簡易懸濁法を身に付けるための実技セミナー

担当:石田志朗、J-HOP との共催

日時:2023 年 9 月 24 日(日)13:00～16:10

場所:徳島文理大学香川薬学部実習棟3階

参加者数:16 名

3) 第 10 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

担当:倉田なおみ、熊木良太

日時:2024 年 2 月 4 日(日)10:00～15:30 (55 分の休憩を含む)

場所:Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

参加者:28 名、ファシリテータ:5 名、ファシリ研修:3 名

4) 第2回 日本服薬支援研究会 簡易懸濁法実技セミナー
担当:青木学一
日時:2024年6月2日(日)13:00～16:45
場所:北里大学白金キャンパス(東京都港区白金5-9-1)
参加者数:44名、ファシリテータ:10名

[Ⅳ]共催

1) 第6回簡易懸濁法実技セミナーin 金沢
主催:北陸大学地域連携センター
日時:2024年3月10日(日)10:00～15:30
場所:北陸大学薬学部 実験科学棟

[Ⅴ]後援

1) 第16回日本在宅薬学会学術大会
主催:日本在宅薬学会
日時:2023年7月16日(日)～17日(月・祝)
場所:神戸国際会議場

2) 第30回松山大学薬学部卒後教育講座 令和5年度第1回「簡易懸濁法講習会」
主催:愛媛県薬剤師会
日時:令和5年7月23日(日)13:00～16:10
場所:松山大学9号館(薬学部棟)9階医薬品情報
特別講演:13:05～14:05 『嚥下困難患者への服薬支援ー製剤学から考える簡易懸濁法ー』
徳島文理大学香川薬学部教授 石田志朗先生
簡易懸濁法実習:14:15～16:05

3) 北部地区薬剤師会実技セミナー
主催:沖縄県北部地区薬剤師会
日時:令和5年9月8日(金) 19:30～21:00 場所
県立北部病院 2階 会議室
内容:講演『製剤学から考える簡易懸濁法』(45分)
実習『正しい簡易懸濁法の手技を身に付ける』(45分)
徳島文理大学 香川薬学部 製剤学講座・教授 石田 志朗 先生

4) 2023年度 沖縄県病院薬剤師会 NST分科会～服薬支援のための簡易懸濁法～
主催:沖縄県病院薬剤師会 NST分科会
日時:2023年9月9日(土)14:00～17:00
場所:沖縄県薬剤師会館ホール(2階)
講演:製剤学から考える簡易懸濁法 徳島文理大学香川薬学部製剤学講座 石田志朗 先生

5) 第 34 回松山大学薬学部卒後教育講座 令和 5 年度第 2 回「簡易懸濁法講習会」

主催:愛媛県薬剤師会

日時:2023 年 11 月 25 日(土)14:00～17:00

場所:愛媛県薬剤師会館 3 階 大講義室

特別講演:14:00～15:30 『簡易懸濁法の基礎から応用まで』

株式会社アルティザン 天野 学 先生

簡易懸濁法実習:15:30～17:00

6) 第 11 回九州 PEG サミット in 指宿

主催:第 11 回九州 PEG サミット in 指宿実行委員会

日時:2023 年 11 月 11 日、12 日

場所:指宿市民会館

7) 東邦大学大森病院 地域連携学術集会・目からウロコが落ちる勉強会シリーズ第 35 弾

主催:東邦大学医療センター大森病院

日時:2024 年 1 月 16 日 18:00～19:35

場所:東邦大学医療センター大森病院 5 号館地下 1 階臨床講堂

8) リカレント 2023 年度 NPOHEART 簡易懸濁法出前実習

主催:特定非営利活動法人 健康環境教育の会

日時:2023 年 11 月 1 日～2024 年 6 月 30 日 日時 (60 分)

9) 第 25 回神奈川 NST フォーラム

主催:神奈川 NST 研究会

日時:2023 年 12 月 2 日 13:30～17:30

場所:相模女子大学マーガレット本館 3F

特別講演「多職種で関わる服薬管理も、邁進(いざ)！」

昭和大学薬学部 客員教授 倉田なおみ 先生

10) 第 20 回愛媛県薬剤師会学術大会 ～プレ Web セミナー～

主催:愛媛県薬剤師会

日時:2024 年 2 月 16 日 19:00～20:30

場所:Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

内容:内服薬の経管投与が粉碎法から簡易懸濁法に代わった！

～20 年近くの研究により集積した簡易懸濁法のエビデンス～

徳島文理大学香川薬学部製剤学講座 教授石田 志朗先生

[V]簡易懸濁法認定制度

1) 簡易懸濁法指導薬剤師試験

日時:2023 年 10 月 29 日(日) 8:50～17:25

場所:Zoom による実技試験

受験者:4 名

2)簡易懸濁法認定薬剤師試験

日時:2023 年 10 月 22 日(日) 9:00～10:30

場所:Zoom による筆記試験

受験者:6 名

3)Web 実技セミナー認定薬剤師研修

研究会主催の Web 実技セミナー([Ⅲ]実技セミナー)にて、簡易懸濁法認定薬剤師がファシリテータを体験。

[Ⅵ]その他

1)2023 年 8 月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 11、No. 1 発行

2)2024 年 2 月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 11、No. 2 発行

2023年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

【収入の部】

(単位：円)

勘定科目		2023年度	2023年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
会費収入		5,184,000	5,032,000	-152,000	
	正会員会費	4,130,000	3,880,000	-250,000	5,000円×776件（当年度731件、過年度40件、前受金5件）
	学生会員会費	4,000	2,000	-2,000	2,000円×1件（当年度1件）
	賛助会員会費	1,050,000	1,150,000	100,000	50,000円×23口（当年度20口、前年度3口）
事業収入		2,243,232	1,961,275	-281,957	
	講演会費	700,000	727,500	27,500	Web講演会4回シリーズ 7/28 1回目：研究会会員（1,000円）77名、J-HOP会員（1,500円）21名、非会員（2,000円）12名 8/252回目：研究会会員（1,000円）84名、J-HOP会員（1,500円）35名、非会員（2,000円）21名 9/153回目：研究会会員（1,000円）80名、J-HOP会員（1,500円）24名、非会員（2,000円）14名 10/204回目：研究会会員（1,000円）60名、J-HOP会員（1,500円）11名、非会員（2,000円）17名 Web講演会 5/10 参加費：研究会会員（1,000円）60名、J-HOP会員（1,500円）0名、非会員（2,000円）5名 11/17 参加費：研究会会員（1,000円）51名、J-HOP会員（1,500円）10名、非会員（2,000円）13名
	学術大会・総会費	189,732	61,000	-128,732	9/3 学術講演会・総会：研究会会員（500円）94名、J-HOP会員（1,000円）6名、非会員（2,000円）4名
	実技研修会費	1,081,500	960,775	-120,725	8/6 専門薬剤師受験のための研修会：研修受講費（8,000円）3名 8/6 第9回Web実技セミナー：研究会会員(6,000円)19名、J-HOP会員(8,500円)5名、非会員(11,000円)4名 8/6 専門薬剤師受験のための研修会：研修受講費（3,000円）1名 8/6 第9回Web実技セミナー：研究会会員(6,000円)3名、J-HOP会員(8,500円)1名 9/24 第4回実技セミナーin香川：研究会会員(3,000円)6名、J-HOP会員(3,000円)6名、非会員5,000円)4名 2/4 第10回Web実技セミナー：研究会会員(6,000円)17名、J-HOP会員(8,500円)7名、非会員(11,000円)5名 6/2 第2回実技セミナーin北里：研究会会員・賛助会員・北里大学教職員(6,000円)27名、J-HOP会員(8,500円)9名、非会員(11,000円)8名 Peatix合計 853,000円 実技セミナー資材・医薬品代 107,775円
その他収入	認定事業費	272,000	212,000	-60,000	簡易懸濁法指導薬剤師登録料:(5,000円)3名 簡易懸濁法認定薬剤師制度 単位認定料:(3,000円)1名 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師 更新申請費 更新審査・登録料（5,000円）7名 簡易懸濁法認定薬剤師 認定試験 受験料 認定審査料（5,000円）6名 簡易懸濁法指導薬剤師 認定試験 受験料 認定審査料（10,000円）3名 簡易懸濁法指導薬剤師 認定試験（限定） 受験料 認定審査料（3,000円）1名 簡易懸濁法認定薬剤師、指導薬剤師 新規登録 登録料（5,000円）10名 第9回簡易懸濁法実技セミナー認定単位 再発行 手数料 再発行料（3,000円）1名 2024年1月28日開催 秋田県薬剤師会実技セミナー 認定単位発行手数料 40,000円 第10回簡易懸濁法Web実技セミナー 認定単位 再発行 手数料 再発行料（3,000円）1名
	その他収入	0	107,761	107,761	利息、預り金
	当期収入合計(A)	7,427,232	7,101,036	-326,196	
	前期繰越収支差額	9,128,019	9,128,019	0	
	収入合計(B)	16,555,251	16,229,055	-326,196	

2023年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

【支出の部】

勘定科目		2023年度	2023年度	差 異	
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
事業費支出		2,965,849	2,156,274	-809,575	
	講演会費	734,946	364,675	-370,271	Zoom年間契約、講師謝金
	学術大会・総会費	186,745	150,972	-35,773	講師謝金、交通費、弁当・お茶代、チラシ印刷代、研修認定申請費、Zoom
	実技研修会費	1,446,617	1,106,265	-340,352	第9回Web実技セミナー：謝金、研修認定申請料 J-HOP共同開催簡易懸濁法実技セミナー：謝金 九州PEGサミット：交通費、宿泊費、参加費、打合せ費 第10回Web実技セミナー：謝金、研修認定申請料 第2回実技セミナー：交通費、謝金、郵送、研修認定申請料 実技セミナー in 香川：研修認定申請料
	認定事業費	333,541	270,362	-63,179	認定試験：交通費、謝金、認定証用紙、郵送費
	簡易懸濁可否情報共有システム保守費	264,000	264,000	0	月額22,000円（12ヶ月分）
	ホームページ改修費用	0	0	0	
		4,616,030	2,844,553	-1,771,477	
管理費支出	幹事会・委員会費	872,000	165,000	-707,000	Web幹事会(9回) 認定制度委員会（1回） 医療安全部会（1回） 指導薬剤師評価者打ち合わせ会議（1回） 調査研究委員会（1回） 簡易懸濁法実技セミナー事前打合せ会議（1回） 簡易懸濁法認定制度関連会議（1回） 第5回学術講演会のプログラム委員会（1回） 第9回web実技セミナー事前打ち合わせ会議（2回） 認定薬剤師試験問題作成会議（2回） 新事務局についての幹事会web会議（1回） ：日当
	事務消耗品費	710,000	733,968	23,968	会報制作（2回）、印刷発送等費用、封筒代
	通信費	115,600	89,035	-26,565	郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	2,842,400	1,496,328	-1,346,072	(株)アクセライト事務委託費前期分(会員・庶務・会計業務)。※後期分の1,264,269円は次年度支払予定。
	租税公課	0	107,658	107,658	源泉税
	原稿料	25,000	0	-25,000	
	雑費	51,030	252,564	201,534	振込手数料、ピーティックス販売手数料、共有システム表彰費（クオカード）
	予備費支出 予備費	375,000	122,500	-252,500	介護施設・在宅医療のための「食事状況から導く、薬の飲み方ガイド」（割引販売研究会負担分）
その他支出		13,750	0	-13,750	
当期支出合計(C)		7,970,629	5,123,327	-2,847,302	
当期収支差額(A)－(C)		-543,397	1,977,709	2,521,106	
次期繰越収支差額(B)－(C)		8,584,622	11,105,728	2,521,106	

監査報告書

日本服薬支援研究会

代表幹事 倉田なおみ 殿

2023 年度(2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)の会計報告および事業報告の
監査を行った結果、適切かつ妥当であることを認めます。

2024 年 9 月 27 日

日本服薬支援研究会

監事 座間 味 義人 

監事 喜 本 悦 子 

2024 年度(2024 年 7 月～2025 年 6 月)事業計画

●年間行事予定

<2024 年>

- 7 月 事務局移転 アクセライト→学会支援機構
- 8 月上旬 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 12、No. 1 発行
- 8 月下旬 学会管理システム完成(Web のマイページから会員情報を修正可能)
2024 年度年会費請求書発行、ゆうちょ銀行・コンビニからの振込、クレジット決済も可能
- 7 月 25 日 Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
「リハ栄養とリハ薬剤」を考える金曜日
1 回目「リハ栄養とリハ薬剤」
東京女子医科大学病院リハビリテーション科 教授・基幹分野長 若林秀隆 先生
- 8 月 9 日 Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
「リハ栄養とリハ薬剤」を考える金曜日
2 回目「生活を意識した薬物療法」
原土井病院 薬剤部科長 中道真理子 先生
- 9 月 13 日 Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
「リハ栄養とリハ薬剤」を考える金曜日
3 回目「生活機能の評価と薬物療法 - リハ薬剤スクリプトを使ってみよう -」
春日井市民病院 薬剤局 中村直人 先生
「調剤薬局が実践するリハ薬剤」
帝京大学大学院公衆衛生学研究室 海老原英之 先生
- 9 月 28 日 第 5 回日本服薬支援研究会/第 17 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会
～29 日 大会長 飯田純一、実行委員長 青木学一
場所:北里大学薬学部
- 9 月 28 日 13:00～16:30 簡易懸濁法実技セミナー
【アドバンスセミナー】【実技セミナー】
17:00～19:00 懇親会
- 9 月 29 日 9:30～11:00 特別講演 1 「あのね、ほんとうはね～心の声が言葉になる」
副島 賢和 先生
11:10～12:10 教育講演 「医療 DX 推進と服薬支援」 倉田 なおみ 先生
12:20～13:00 ランチョンセミナー 「食事業への挑戦
～ Vision R (ビタミン・ミネラルふりかけ編)」ロート製薬
13:10～13:50 ポスター発表
14:00～15:00 特別講演 2 「薬剤師業務のタスク・シフト/シェアと患者支援の展開」岸本 真 先生

15:10～15:40 総会（会員のみ）

10月11日 Web講演会4回シリーズ

ZoomによるWeb開催 19:00～20:30

「リハ栄養とリハ薬剤」を考える金曜日

4回目「リハビリテーション薬剤の実践 ～リハ薬剤を効率的に進めるコツ～」

昭和大学藤が丘病院薬剤部/昭和大学薬学部病院薬剤学講座 薬剤部長/准教授 藤原久登 先生

10月20日 簡易懸濁法 認定薬剤師Web試験 8:45～11:30

11月8日 医療安全部会 Web講演会「薬剤師に求められる医療安全の視点とは」

ZoomによるWeb開催 19:00～20:40

19:05～19:40 特別講演1 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 梅村 朋先生

19:40～20:45 特別講演2 三重大学医学部附属病院 医療安全管理部 兼児敏浩先生

11月16日(土)～17日(日) PDN セミナー 第12回 九州PEGサミット in 岡山（後援）

場所:岡山済生会総合病院

簡易懸濁法の実習用ブースを開設

11月28日 東京都豊島地区薬剤師会 簡易懸濁法実技セミナー(後援)

講師 倉田なおみ

12月 簡易懸濁法 認定薬剤師・指導薬剤師の認定試験および更新の結果発表

<2025年>

1月26日 大阪府和泉市薬剤師会 簡易懸濁法実技セミナー(後援) 13:00～16:00

場所:和泉市保健センター1階

講師2名を派遣

2月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 12、No. 2 発行

2月23日 第11回簡易懸濁法Web実技セミナー

3月 簡易懸濁法に関する最近の知見を紹介(仮題) 摂食嚥下障害部会

担当:石田志朗

ZoomによるWeb開催 19:00～20:30

3月9日 第7回簡易懸濁法実技セミナーin 金沢（共催） 10:00～15:30

講義・実習指導:倉田なおみ

●委員会

<生涯教育部・簡易懸濁法認定制度委員会>

1) 簡易懸濁法認定制度の充実

<2024年>

7月 簡易懸濁法認定制度ホームページ更新

8月～9月末 簡易懸濁法認定薬剤師、簡易懸濁法指導薬剤師の募集(新規・更新)

- | | |
|----------|--|
| 10 月 | 書類審査
簡易懸濁法認定薬剤師 Web 試験・評価
簡易懸濁法指導薬剤師 Web 実技試験・評価 |
| 12 月 | 認定試験判定とフィードバック後の可否通知、更新判定と通知、認定証発送 |
| <2025 年> | |
| 2 月～6 月 | 簡易懸濁法認定制度の充実(HP 更新を含む)に向けた検討・整備 |

2) 認定薬剤師の育成

簡易懸濁法実技セミナー実施時には認定薬剤師研修を行う(目標:2 回/年)

<生涯教育部・実技セミナー検討委員会>

活動目的 質の高い Web 実技セミナーを確立し、評価・改善を検討する。

活動目標 現在の Web 実技セミナーの評価・ブラッシュアップの実施

より発展的な内容の Web 実技セミナーの検討

アクションプラン

1) Web 実技セミナーの評価・ブラッシュアップ

- ・参加者のアンケート結果を精査
- ・セミナーの所要時間、実施内容、事前準備方法等について Web 会議を開催し、評価を行う。

2) アドバンスド簡易懸濁法 Web 実技セミナーの検討

- ・実施内容(形式)、所要時間、参加対象、ファシリテータの養成などについて、Web 会議を実施し、検討していく。

<広報部・会誌委員会>

1) 2024 年度日本服薬支援研究会誌 Vol. 12、No. 1を 2023 年 8 月に発行

2) 次回の Vol. 12、No. 2 は 2024 年 2 月発行を予定

3) 服薬支援研究会の論文投稿について

服薬支援に関する論文を広く公募、服薬支援研究会会員に対してメールにて投稿を依頼。

<広報部・HP委員会>

1) 簡易懸濁可否情報共有システムデータの随時更新

2) 講演会・研修会等の HP への掲載

3) 新 HP へのリニューアル:2025 年 1 月完成予定

＜総務部＞

- 1) 一般社団法人、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会(J-HOP)との連携の準備
 - ・ 簡易懸濁法実技セミナーおよび講演会等の会員への広報
 - ・ J-HOPの地域ブロックにおける簡易懸濁法実技セミナーの実施
- 2) 新事務局(学会支援機構)との業務共有

＜学術部・調査研究委員会＞

- 1) 簡易懸濁法および服薬支援に関する調査・研究
- 2) 簡易懸濁法および服薬支援に関する学術論文の会誌での紹介
- 3) メーリングリストの Q&A の会誌への掲載
- 4) 経管投与支援料に関する調査・研究

●部 会

＜運動障害＞

薬を包装から取り出す際や使用する際に、片麻痺、パーキンソン病、関節リウマチなどによる障害や、抗がん薬による爪囲炎等に伴う障害による服薬困難・使用困難に対して、その障害に合せた支援について、ツールの開発を含め行うため、2024 年度については以下の事業について検討する。

- 1) 運動機能障害に対する服薬支援の現状について把握するための調査
- 2) 上市されている服薬支援に関するツールを把握するための調査
- 3) 運動機能障害と服薬支援に関する部門研修会の実施(WEB 形式)

＜医療安全＞

- 1) 医療安全部会では、すべての患者に対して安全な服薬を目指している。そのため、PMDA や厚労省から発出された医薬品や服薬に関する情報について定期的に(1 か月に 1 回)確認を行い、部会内で重要であると判断した場合には、研究会のメーリングリストで情報共有する。なお、メーリングリストへの掲載適否については、部会長が部員にメールを通じて確認を行い、部員の承認を得る。
- 2) Web 研修会の開催を 2024 年 11 月に計画している。

<摂食嚥下障害>

- 1) 簡易懸濁法に関する最近の研究や論文を紹介して、会員との意見交換ができる Web 研修会の開催を 2025 年 3 月に計画。

<小 児>

目的 乳幼児における薬剤の経管投与時の課題抽出と解決方法の検討

目標 乳幼児におけるチューブ通過性試験条件の確立

乳幼児におけるチューブ閉塞の要因解析と閉塞防止方法の検討
アクションプラン

1) コアメンバーの招集

熊木、原田の他、現場の薬剤師として 4 名のメンバーに打診予定
必要に応じて随時追加予定

2) コアメンバーによる検討計画の立案

- 1) 特性要因図(フィッシュボーン分析)の作成
- 2) フォーカスグループで議論すべき課題の整理

3) フォーカスグループによるグループ討議

実際に投薬に携わる看護師・家族の方を募集(15 名程度:1 グループ 5 名×3 グループ)し、
ブレインストーミングを実施、KJ 法で分析予定

4) チューブ通過性試験およびチューブ閉塞時の理化学試験条件の確立

- ・ 経鼻チューブ通過性試験(服薬支援研究会の有志)
- ・ 実際の条件を考慮した試験(昭和大薬剤学部門)→弁、酸、相互作用の影響

5) アウトプット

- ・ 研究会総会および会誌での報告
- ・ 経管投与ハンドブック第 5 版への掲載
- ・ 学術雑誌への論文投稿

<がんケア>

会誌や Web 講習会などを通じて情報発信を行う

内容 ・ がん末期の患者さんの口臭対策

- ・ 乳がん患者への入浴着の啓発
- ・ 抗がん剤により生じる不快な副作用症状(末梢神経障害、手足症候群、脱毛、味覚障害など)についての予防法、対策法、シャンプーの選び方
- ・ ハザードスドラッグスの曝露対策と患者支援
- ・ がん検診の推進について

<健康長寿(未病・予防)>

会誌や Web 講習会などを通じて情報発信を行う

内容 ・ 健康長寿(未病・予防)を長く維持するため、フレイルやサルコペニア、褥瘡などについて理解を深め、より良い服薬支援につなげる。

<その他>

1) 簡易懸濁法 DVD・YouTube の作成・活用

- ・賛助会員、製薬企業へ、簡易懸濁法の正しい理解のために配布
- ・簡易懸濁法認定薬剤師の研修用

2) 次年度学術大会・総会

日程:2025 年 9 月末の土曜日・日曜日(予定)

場所:北陸大学薬学部(石川県金沢市)

大会長 毎田千恵子

2024年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)
(2024年7月1日～2025年6月30日)

【収入の部】

(単位：円)

勘定科目		2023年度	2023年度	予実	2024年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		予 算 案	
会費収入		5,184,000	5,032,000	97.1%	5,002,000	
	正会員会費	4,130,000	3,880,000	93.9%	4,000,000	5,000円×800件
	学生会員会費	4,000	2,000	50.0%	2,000	2,000円×1件
	賛助会員会費	1,050,000	1,150,000	109.5%	1,000,000	50,000円×20口
事業収入		2,243,232	1,961,275	87.4%	3,235,000	
	講演会費	700,000	727,500	103.9%	625,000	【運動障害部会】Web講演会参加費／計90,000円 ・会員1,000円×65名、J-HOP会員1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計80名 【がんケア部会】Web講演会参加費／計90,000円 ・会員1,000円×65名、J-HOP会員1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計80名 【医療安全部会】Web講演会参加費／計95,000円 ・会員1,000円×70名、J-HOP会員1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計85名 【摂食嚥下部門】Web講演会参加費／計70,000円 ・会員1,000円×70名 計70名 【総務部会「リハ栄養・リハ薬剤を考える金曜日」4回シリーズ】WEB講演会参加費／計280,000円 ・会員1,000円×70名×4回
	学術大会・総会費	189,732	61,000	32.2%	1,845,000	・参加費／計920,000円 【事前】 会員（アドバンスセミナー参加者含む）6,000円×40名 会員（実技セミナー参加者含む）6,000円×25名 J-HOP会員（実技セミナー参加者含む）8,500円×5名 非会員（参加者含む）11,000円×25名、学生（参加者含む）3,000円×5名 【当日】 会員7,000円×10名、J-HOP会員9,500円×5名、非会員12,000円×5名、学生4,000円×5名 ・懇親会参加費（会員・非会員）5,000円×30名／計150,000円 ・ランチョンセミナー共催費1,500円×150名／計225,000円 ・スポンサード講演共催費（特別講演講演料、交通費、宿泊費）／計200,000円 ・企業出展費50,000円×5／計250,000円 ・広告掲載費（抄録集、会場ポスターなど）20,000円×5／計100,000円
	実技研修会費	1,081,500	960,775	88.8%	605,000	【Web実技セミナー（2025年2月）】参加費／計302,500円 会員：6,000円×25名、J-HOP会員：8,500円×5名、非会員：11,000円×10名 【対面実技セミナー（2025年6月）】参加費／計302,500円 会員：6,000円×25名、J-HOP会員：8,500円×5名、非会員：11,000円×10名
	認定事業費	272,000	212,000	77.9%	160,000	【簡易懸濁法認定制度委員会】2024年度認定制度／計160,000円 ・認定薬剤師新規審査料（@5,000円×8名見込み） ・認定薬剤師新規登録料（@5,000円×8名見込み） ・認定薬剤師更新審査・登録料（@5,000円×8名見込み） ・指導薬剤師新規審査料（@10,000円×2名） ・指導薬剤師新規登録料（@5,000円×2名） ・認定薬剤師更新審査・登録料（@5,000円×2名見込み）
その他収入		0	107,761		0	
当期収入合計(A)		7,427,232	7,101,036	95.6%	8,237,000	
前期繰越収支差額		9,128,019	9,128,019	100.0%	9,128,019	
収入合計(B)		16,555,251	16,229,055	98.0%	17,365,019	

2024年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)
(2024年7月1日～2025年6月30日)

【支出の部】

(単位：円)

勘定科目		2023年度	2023年度	予実	2024年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		予 算 案	
事業費支出		2,965,849	2,156,274	72.7%	4,603,338	
	講演会費	734,946	364,675	49.6%	655,960	Web講演会／謝金、Zoom年間契約料、Peatix手数料、日本薬剤師研修センター単位認定申請費、 日病薬病院薬学研修認定 申請
	学術大会・総会費	186,745	150,972	80.8%	1,845,000	大会事務局運営・管理費(会議費含む)、ポスター・プログラム・抄録集作成費、 印刷費(抄録集・参加証・垂幕・誘導表示など)、通信費(招聘状発送・物品発送など)、 研修シール、事前登録システム販売手数料、実技セミナー薬品・器具費、懇親会費、 人件費 (アルバイト)、講師謝金、交通費・宿泊費、弁当費(飲料代含む)、飲食費
	実技研修会費	1,446,617	1,106,265	76.5%	616,966	・Web・対面実技セミナー (各1回)／資料、郵送料 (Web資料)、郵送料 (Web認定書)、Peatix支払、謝金、交通費 ・住友商事／ラベル、封入作業代、印刷代、印刷製本代、消費税
	認定事業費	333,541	270,362	81.1%	167,812	認定試験：謝金、資料封入発送作業費、認定証用紙、認定証発送料
	簡易懸濁可否情報共有システム保守費	264,000	264,000	100.0%	240,000	簡易懸濁可否情報共有システム保守費
	ホームページ改修費用	0	0		1,077,600	ホームページリニューアル、保守費用
管理費支出		4,616,030	2,844,553	61.6%	4,434,894	
	幹事会・委員会費	872,000	165,000	18.9%	622,400	・運動障害部会Web会議(1回) ・がんケア部会Web会議(1回) ・医療安全部会Web会議(2回) ・健康長寿(未病・予防)部会Web会議(2回) ・広報部会誌委員会Web会議(1回) ・簡易懸濁法認定制度委員会Web会議(2回) ・Web幹事会(12回) ・対面幹事会(1回)、会場費、交通費、 昼食・飲食費(日当) ・調査研究委員会Web会議(4回)
	事務消耗品費	710,000	733,968	103.4%	700,000	会誌発行費用(850部印刷 年2回 印刷および校正)
	通信費	115,600	89,035	77.0%	0	
	人件費	2,842,400	1,496,328	52.6%	3,052,749	会員管理業務委託費用、会計業務委託費用、事務局連絡窓口業務費用、認定制度業務費用 初期引継費用(初年度のみ・税別)、(株)アクセライト社の業務委託費後期分
	租税公課	0	107,658		17,885	消費税
	原稿料	25,000	0	0.0%	25,000	クオカード
	雑費	51,030	252,564	494.9%	16,860	振込手数料、Peatix振込手数料、クオカード購入費(共有システムの表彰)
予備費	予備費	375,000	122,500	32.7%	300,000	
その他支出		13,750	0		66,209	Zoom年間契約、Zoom大規模ミーティング、Box契約、電子印鑑 契約、封筒長3
当期支出合計(C)		7,970,629	5,123,327	64.3%	9,404,441	
当期収支差額(A)－(C)		-543,397	1,977,709		-1,167,441	
次期繰越収支差額(B)－(C)		8,584,622	11,105,728	129.4%	7,960,578	

2024 年度 日本服薬支援研究会（旧簡易懸濁法研究会）役員

1. 代表幹事	昭和大学薬学部	倉田 なおみ
2. 副代表幹事	大洗海岸病院薬剤部 徳島文理大学香川薬学部	新井 克明 石田 志朗
3. 幹事	アルファ調剤薬局 フローラ薬局 東京薬科大学薬学部 霧島市立医師会医療センター薬剤部 武蔵野大学薬学部 東京医科大学八王子医療センター薬剤部 済生会横浜市南部病院入退院支援センター 北里大学薬学部 昭和大学薬学部 兵庫医科大学薬学部 岡山大学病院薬剤部 金沢医科大学病院薬剤部 北陸大学薬学部 新潟市民病院薬剤部 がん研究会有明病院薬剤部	天野 学 篠原 久仁子 秋山 滋男 岸本 真 世良 庄司 奥石 徹 飯田 純一 青木 学一 熊木 良太 橋本 佳奈 久保 和子 中田 いちこ 毎田 千恵子 武藤 浩司 小林 一男（新幹事）
4. 監事	岡山大学病院薬剤部 鳴門山上病院薬剤科	座間味 義人 賀勢 泰子（新監事）
5. 顧問	益田赤十字病院薬剤部 徳島文理大学薬学部名誉教授 千葉西総合病院薬剤科 和泉市立総合医療センター薬剤部 岐阜薬科大学 吉備高原ルミエール病院薬剤科 有隣病院薬剤科 元第一三共株式会社研究開発部 特非）健康環境教育の会	西園 憲郎 岡野 善郎 小茂田 昌代 藤原 琴 寺町 ひとみ 安藤 哲信 近藤 幸男 今野 勉 宮本 悦子
6. 事務局	一般社団法人 学会支援機構	（新事務局）

赤字：改訂

2024 年度 日本服薬支援研究会/旧簡易懸濁法研究会 組織

【部・委員会】担当幹事

1. 会計部 久保和子、世良庄司
2. 総務部 石田志朗、熊木良太、毎田千恵子
 - ・ 規律委員会 世良庄司、倉田なおみ
 - ・ 研修単位担当 日本薬剤師研修センター 石田志朗、武藤浩司
日病薬病院薬学認定薬剤師 新井克明、武藤浩司
日本老年薬学会 武藤浩司
簡易懸濁法認定薬剤師 新井克明
3. 広報部
 - ・ 会誌委員会 岸本 真、秋山滋男、中田いちこ
 - ・ HP 委員会 世良庄司
4. 学術部
 - ・ 学術集会委員会 各幹事、総務部
 - ・ 学会レポーター係り
 - ・ 調査研究委員会 奥石 徹、新井克明、秋山滋男、世良庄司
中田いちこ (Q&A)
5. 生涯教育部 新井克明
 - ・ 実技セミナー検討委員会 熊木良太、橋本佳奈、秋山滋男、
新井克明、岸本 真、石田志朗、
倉田なおみ
 - ・ 簡易懸濁法認定制度委員会
青木学一、奥石 徹、篠原久仁子、
飯田純一、橋本佳奈、**小林一男**
6. 監事 宮本悦子、座間味義人、**賀勢泰子**
7. 事務局 世良庄司、**一般社団法人 学会支援機構**
(〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F)

アンダーライン：委員長、赤字：本年度改訂

【部会】担当

- | | |
|------------|--|
| 1. 摂食・嚥下障害 | <u>石田志朗</u> 、岸本 真、天野 学 |
| 2. 運動障害 | <u>岸本 真</u> 、篠原久仁子、毎田千恵子 |
| 3. 健康長寿 | <u>飯田純一</u> 、橋本佳奈、 武藤浩司 |
| 4. がんケア | <u>青木学一</u> 、奥石 徹、久保和子、 小林一男
小原道子（帝京平成大学薬学部） |
| 5. 医療安全 | <u>秋山滋男</u> 、新井克明、宮本悦子、中田いちこ |
| 6. 小児 | <u>熊木良太</u> 、原田 努（昭和大学薬学部） |

アンダーライン：部会長、赤字：本年度改訂

日本服薬支援研究会 会則

（総則・名称）

第1条 本会は日本服薬支援研究会と称する。

英名は、The Japan Association for Patient Support on Medication とする。

（目的）

第2条 本会は患者またはその看護に当たっている家族及び医療従事者に対する服薬支援を中心に、摂食・嚥下障害、運動障害、健康寿命、小児、高齢者、がんケア、医療安全等の分野において、薬を安全かつ効果的に投与することに関して研究し、その成果を普及させる。そして、患者の医薬品及び医療を主とした生活全般を支援することによりQOLの向上に寄与することを目的とする。

（事業）

第3条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催など、簡易懸濁法の研究・普及を含む患者の服薬支援及び医薬品および医療に関連する生活支援に関する事業
- (2) 医療・介護現場における問題点の抽出、医療・介護施設及び研究機関(大学・企業など)との連携による研究
- (3) 医療・介護施設間の連携強化による服薬支援・生活支援実施の見学幹旋業務
- (4) 国内外関係学会との連携および国際交流
- (5) 機関誌その他刊行物の発行
- (6) その他、本会発展のために必要な事業

（構成・会員）

第4条 本会は本会の目的、事業に賛同し、所定の手続きを行った次の会員をもって構成する。

- (1) 一般会員：本研究会の目的に賛同する個人
 - (2) 学生会員：本研究会の目的に賛同する学部・大学院在学中の学生
なお、就職しての大学院生（社会人大学院生）は一般会員とする。
 - (3) 賛助会員：本研究会の目的に賛同し、本会の事業を援助する企業・団体または個人
2. 本会に入会を希望する者は申込用紙に必要事項を記入し、研究会事務局に届け出た者とする。以上の手続きを行い、役員の承認を得た上で会員細則に規定する会費を納入した者を会員とする。
 3. 会員の特典については、別途会員細則に規定する。
 4. その他、年会費、入会の期間、更新、休会、退会、再入会等については、別途細則に規定する。

（役 員）

第5条 本会に次の役員をおく。

代表幹事 1名
副代表幹事 2名
幹事 若干名
監事 2名
事務局長 1名
顧問 若干名

第6条 役員の職務

代表幹事は本会を統括し、幹事会ならびに総会では議長となる。

2. 幹事は幹事会を構成し、学術研究会をはじめとする本会事業の運営方針を立案しこれを推進する。なお、会の効率よい運営のため、学術事業委員会、渉外広報委員会、財務委員会、総務委員会、生涯教育委員会に幹事若干名を置くこととする。
3. 監事は本会の会計を監査する。

第7条 役員の選出および任期

代表幹事および副代表幹事は、幹事の互選により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

2. 幹事、監事、事務局長および顧問は、幹事会の推薦により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

第8条 幹事会

幹事会は必要に応じて開催するが、電子メールやWeb会議ツールを用いての会議も可能とする。

(部 会)

第9条

当研究会は、調査・研究等の学術事業の執行のために必要があるときは、各種の部会を設けることができる。

2. 各部会の部会長及び委員は、幹事会の承認を得て代表幹事が委嘱する。
3. 各部会の任務、構成及び運営に必要な事項は、幹事会の決議により別に定める。

(学術集会)

第10条

当研究会は、幹事会の決議を経て、学術集会を開催する。

2. 前項に規定する学術集会のほか、あらかじめ幹事会の決議を経たうえで、講演会、研究会等を開催することができる。
3. 学術集会開催にあたり、幹事会の決議をもって会員の中から学術集会大会長を選任する。
4. 学術集会大会長の任期は、前年の学術集会が終了した時から自らが主宰する学術集会が終了した時までとする。

(会計・会費)

第11条 本会の経費は会費・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。本会の収支決算書は会計年度終了後に事務局が作成し、監事の監査を受けた上で、幹事会の承認を得て会員に報告しなければならない。

2. 会員は会則細則に定める年会費を納める。会費は主として本会の運営に充当されるものとする。なお、会費は幹事会で議決し、決定するものとする。
3. 会計年度は毎年7月1日から6月30日までとする。

(事務局)

第12条 事務局は代表幹事のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等研究会の運営に必要な諸事務をおこなう。研究会事務局の所在地等は細則に示す。

(会則の変更)

第13条 会則の変更は幹事会の議を経て、会員に報告するものとする。

2. 幹事会は2/3以上の幹事の出席(委任状を含む)をもって成立し、出席者(委任状を含む)の過半数で議決される。

付則

本会則は、2019年6月1日から施行する。

細則、第3条、第3項を追加 2020年4月7日

会則の第4条及び細則の第条を改正、別途「会員細則」を設けた。 2020年9月9日

細則、第4条を変更 2021年4月1日

細則、第4条を変更 2024年7月1日

細則

第1条 本会の運営に必要な事項は、この細則に定める。

第2条 細則の立案及び修正は、会則第13条により幹事会が行う。

第3条 会則第4条に定める会員の特典、入会・期間・休会・退会・再入会および会費は別途「会員細則」により定める。

第4条 研究会事務局の所在地等

一般社団法人 学会支援機構内

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 RENEX Shin-otsuka 4F

E-mail: fukuyakushien-office@umin.ac.jp

fukuyaku@asas-mail.jp

簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者 表彰

期間:2023年8月1日～2024年7月31日

長崎 裕也 先生（北里大学病院 薬剤部） 16件

秋山 滋男 先生（東京薬科大学 薬学部） 8件